

生産性向上のための指針

社会福祉法人 広島YMCA福祉会

1. 総則

利用者に質の高いケアを提供するという理念を掲げながら介護サービスの生産性向上を図り、「介護の価値を高めること」を目的とする。

2. 生産性向上委員会その他施設内の組織に関する事項について

(1) 委員会の目的

利用者の安全並びに介護サービスの質を維持・向上させつつ、日々多忙な介護現場の職場環境をより働きやすく変えていくための対策を検討する「生産性向上委員会」を設置する。

又、必要に応じて部会を設けることがある。

(2) 委員会の構成

主務者会の構成メンバー及び部会のメンバー

(3) 委員会の業務

生産性向上委員会は主務者会に付随して開催し、必要に応じて部会を開催する。

検討事項は次に掲げる事項について検討を行う。

- ①介護記録ソフトを効果的に使用するための方策の検討と進捗状況の確認及び利用する場合における利用者の安全やケアの質の確保。
- ②業務の効率化及び職員の業務負担を削減するための改善策の検討

又、業務改善に向けた以下の取り組みを行う。

- ①職場環境の整備
- ②業務の明確化と役割分担
- ③手順書の作成
- ④記録報告様式の工夫
- ⑤情報共有の工夫
- ⑥ OJT の仕組みづくり
- ⑦理念・行動指針の徹底
- ⑧利用者へのサービス提供内容の確認と改善

・ 3. 研修

(1) 職員研修の実施

生産性向上に資する知識の習得、施設方針の徹底、情報の伝達などを目的として必要に応じて研修会を実施し、職員の資質向上及び教育に努める。また、外部の研修会にも参加し、情報の収集とともに知識・技術の習得に努める。

4. 生産性向上のための手順

(1) 現場の課題を見える化

課題を見える化し、取り組む課題を洗い出す。

業務改善に向けた取り組みは、以下①～⑧の8つの視点から行う。

- ①職場の環境整備 (安全な介護環境と働きやすい職場)
- ②業務の明確化と役割分担 (「ムリ」「ムダ」「ムラ」の3Mを削減)
- ③手順書の作成 (誰がやっても同じサービスが提供できるように手順を明確にする)
- ④記録報告様式の工夫 (情報を読み解きやすくする)
- ⑤情報共有の工夫
- ⑥OJTの仕組みづくり (人材育成:教育内容の統一と指導方法の標準化)
- ⑦理念・行動指針の徹底
- ⑧利用者へのサービス提供内容の確認と改善 (業務内容を見直して改善する)

(2) 実行計画を立てる

・解決する課題を絞り込み、委員会で意見交換を行うことで、優先的に取り組むべき課題を決定する。

・課題解決のために必要な取組内容や職員の役割を決定する。

(3) 改善活動に取り組む

・まずは取り組み、試行錯誤を繰り返す。

・大きな成功は小さな成功の積み重ねから生まれるため、まずは小さな成功事例を作り出す。

・取り組みの前後で効果の判定を行う。

(4) 改善活動を振り返る

・取組の途中経過を把握し、改善活動におけるゴールを達成するために必要な軌道修正を図る。

・取組の成果を検証する。

(5) 実行計画を練り直す

・上手くいった点、上手くいかなかった点について分析する。

・優先度が低いと位置付けた課題を含め、改めて取り組む改善活動を検討する。

・実行計画の取組期間を含めて、業務プロセスとして習慣化させる。

5. その他

- (1)生産性向上の取組を進めるにあたり厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」を参考する。